

家畜衛生だより

動物用医薬品の適正使用をお願いします！

食品としての乳、肉等の畜産物中に薬が残留する事で起こる人の健康被害を防ぐため、動物用医薬品の中には「使用禁止期間（休薬期間）」が設けられているものがあります。

昨年11月には、大阪府が府内の大手食品会社が製造した瓶詰の牛乳を検査したところ、コクシジウムの治療薬（スルファモキサシ）が検出され、府は食品衛生法に基づき、同社に同一ロットの瓶詰牛乳4万4,577本の回収を命じました。

不適切使用により、食品衛生法で定められた基準値を超えて医薬品が残留すると、廃棄や回収の対象になるため、用法・用量及び使用上の注意に従うとともに、使用状況等の記録をお願いします。



休薬期間とは？

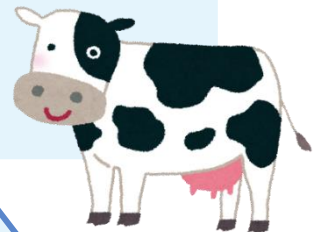
医薬品等の残留の可能性がある畜産物が食卓へ運ばれることを防ぐため
医薬品を動物に投与してはいけない期間のことです。

休薬期間が終わるまでは出荷できません！




休薬期間は、診療獣医師の指示や獣医師が発行する処方箋・指示書で確認。
(主な動物用医薬品の休薬期間は裏面の一覧表を参照してください。)



病畜は薬物の分解や排出に時間がかかる場合があります。
出荷を休薬期間よりも延ばす等の対策をお願いします。



休薬期間の数え方 例) 休薬期間 3日間

月	火	水	木	金
投薬	1日目	2日目	3日目	出荷OK
	休薬期間 3日 			



投薬当日は「0日目」と数えます。
投薬当日と出荷日は休薬期間に含めません。

主な抗生物質

分類	成分名	主な製品名	使用禁止期間（休業期間）		備考
			と殺前	搾乳前	
ミノグリコチン系	カナマイシン	タイニーPK	7日間	96時間	泌乳しているものに限る
		カナマイシン注NZ 硫酸カナマイシン注射液250明治	30日間	36時間	
セフェム系	セファゾリン	セファメジンQR セファメジンS セファゾリン油性乳房注入剤	3日間	72時間	泌乳しているものに限る
		セファメジンZ	3日間	60時間	
	セフロキシム	泌乳期用スペクトラゾール セフロキシムナトリウム油性乳房注入剤	2日間	72時間	泌乳しているものに限る
テトラサイクリン系	オキシテトラサイクリン	OTC注「KS」 オキシテトラサイクリン注NZ	14日間	72時間	
		オキシテトラサイクリン乳房炎液NZ	14日間	144時間	泌乳しているものに限る
ペニシリン系	ペニシリン	動物用懸濁水性プロカインペニシリンG 懸濁水性プロカインペニシリンG注NZ	14日間	96時間	
		結晶ペニシリンG明治	3日間	48時間	
	アンピシリン	アンピシリンナトリウム注「フジタ」 注射用アンピシリンナトリウムNZ	3日間	72時間	
	クロキサシリン	注射用ベテシリン	3日間	72時間	
マクロライド系	タイロシン	タイロシン注200「SP」 タイロシン注200「KS」	28日間	96時間	
複合製剤	フラジオマイシン	ハイポリS	7日間	108時間	
カルバペネム系	スルファジメトキシム	アプシード注20% 10%サルトキシム注	14日間	120時間	
	スルファモノメトキシム	ダイメトンB注20% ダイメトン注	28日間	72時間	
フルオロキノロン系		エンロフロキサシン	ダイメトンS散 ダイメトン「明治」	7日間	—
	バイトリル5%注射液		14日間	60時間	
	バイトリル10%注射液		8日間（静脈） 14日間（皮下）	60時間	

- ✓上記の表は、動物用医薬品の**一部**です。
- ✓動物用医薬品を使用する場合は、**必ず、かかりつけの獣医師の指示に従い適正に使用**してください。
- ✓動物用医薬品は決められた場所に保管してください。
- ✓動物用医薬品を使用した際には、**全ての医薬品の投与記録を記録**してください。
- ✓記録は保管しましょう。



主な治療薬（抗生物質を除く）

主な効能	成分名	主な製品名	使用禁止期間（休業期間）		備考
			と殺前	搾乳前	
強心・利尿	安息香酸ナトリウムカフェイン	20%アンナカ注	4日間	24時間	
炎症・疼痛の緩和	サリチル酸	ザルソプロカ糖注NZ	2日間	24時間	
	スルピリン	動物用4.0%スルピリン注 動物用スルピリン注40%「KS」	10日間	24時間	
	フルニキシンメグルミン	フルニキシン注5%「タムラ」 フォーベツト5.0注射液	10日間	60時間	
	メロキシカム	メタカム2%注射液 メロキシカム2%注	18日間	132時間	
第一胃食滞	メトクロプラミド	プリンペラン注 動物用メトクロ注1.0「KS」 動物用テルペラン注	1日間	48時間	
第一胃拡張症	バタネコール塩化物	ベサネコール注NZ	10日間	—	
食欲不振	ビオジスターゼ5.00（消化剤）	ボビノン	7日間	—	
ケトーシス	ウルソデオキシコール酸	ウルソ注射液1.0% ウルソH注射液	1日間	—	
	チオプロニン	動物用チオラ注射液	15日間	36時間	
ケトン症	デキサメサゾン	水性デキサメサゾン注A	7日間	60時間（静注） 48時間（皮下）	
発情誘起	エストラジオール	エストラジオール注「KS」 動物用オバホルモン注	7日間	—	
発情同期	クロプロステノール	ゼノアジンC注射液	7日間	—	
		ダルマジン	3日間	—	
駆虫	イバルメクチン	アイボメック注 イバルメック注2%	40日間	—	搾乳牛を除く！ 分娩予定日前28日間の乳牛を除く！
	レバミゾール	塩酸レバミゾール散・1.00 リベルコールL	7日間	—	搾乳牛を除く！
コクシジウム症	トルトラズリル	牛用バイコックス 牛用メイズリル	59日間	—	生後3か月を超える牛を除く！

✓上記の表は、動物用医薬品の**一部**です。

✓動物用医薬品を使用する場合は、**必ず、かかりつけの獣医師の指示に従い適正に使用**してください。

✓動物用医薬品は決められた場所に保管してください。

✓動物用医薬品を使用した際には、**全ての医薬品の投与記録を記帳**してください。

✓記録は保管しましょう。



令和5年度第2回目牛ウイルス性下痢（BVD） バルク乳検査 全戸陰性

近年、BVDの発生が全国的に増加しており、県内でも持続感染牛（PI牛）摘発事例があります。

本県ではBVDのPI牛早期発見のため、年に2回、県内の全酪農家を対象にバルク乳を採取し、無料で検査を実施しています。

今年度第2回目は令和6年2月6日、8日に実施し、全戸陰性を確認しました。

- 導入牛（妊娠牛の場合はその産子も）は、その都度BVDの検査を行いましょう。（検査手数料 600円/頭）
※販売用子牛も検査を行い、BVDをまん延させないように努めましよう。
- BVDワクチンを接種して感染を予防しましよう。
ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛には必ず不活化を接種してください。
- PI牛と診断されたら（一社）埼玉県畜産会の補助事業などを活用し、速やかにとう汰しましよう。



ランピースキン病防疫対策要領が策定されました

ランピースキン病は令和元年に中国で発生して以降、アジア各国で発生が続発しています。令和5年10月には韓国での発生も確認され、日本への侵入リスクは高い状況にあります。

国内での発生に備え、「ランピースキン病防疫対策要領」が策定されました。詳細は下記HPをご確認ください。

農林水産省 HP <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/lzd.html>

